



2025年8月22日

ESG投資を通じたSDGs達成に向けた取組みについて
～独立行政法人国際協力機構が発行するサステナビリティボンドを購入～

学校法人東北医科薬科大学（理事長 高柳 元明）は、このたび、独立行政法人国際協力機構（JICA）が発行するサステナビリティボンド（第84回国際協力機構債券（5年・サステナビリティボンド））の購入を決定いたしました。

サステナビリティボンドは、調達資金の用途が、①環境改善効果があること（グリーン性）、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方が有する債券であり、資金用途がSDGsに貢献する事業に特定される「SDGs債」としてESG投資※の対象となります。

本学は、医学部、薬学部そして両学部の臨床実習の場である附属病院が連携した教育を通じて、地域社会を支える医療人、研究者など多様な人材を育成しておりますが、これに加え、本債券のような社会的課題や環境問題の解決につながる事業、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく、社会的使命・役割を果たして参ります。

【本債券の概要】

銘 柄	第84回国際協力機構債券（サステナビリティボンド）			
年 限	5年			
発行日	2025年8月20日			
資金用途	アフリカ向けの有償資金協力事業に充当			
関連するSDGs	 <p>1 貧困をなくそう</p>	 <p>2 飢餓をゼロに</p>	 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>
	 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>
その他	<p>JICAは、2023年4月に「JICA ソーシャル/サステナビリティボンドフレームワーク」を公表しました。本フレームワークは、第三者評価機関（ムーディーズ）より外部評価（セカンド・パーティ・オピニオン）を取得しています。また、本債券は、ICMA（国際資本市場協会）サステナビリティボンドガイドラインに基づくフレームワークを適用しています。</p>			

※ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を組み合わせた言葉であり、「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のことをいいます。